

血液内科 を開設

ニュース

血液内科は指導医や専門医資格を有する常勤医 3 名の充実した診療体制となり、当院では 2020 年 8 月 1 日より、診療科目として標榜を開始いたしました。

国内外の診療ガイドラインに沿った適切な診療を心がけております。また、高齢や合併症のある患者さんに対しては、それぞれの状態に応じた治療を検討いたします。抗がん剤や抗体薬での治療を行うことがありますが、多くの治療は外来通院で行うことが可能です。なお、ほとんどの血液疾患に関して診療が可能ですが、急性白血病や移植治療が検討される場合には、信州大学医学部附属病院やまつもと医療センター等とも連携を図ります。

地域の先生方におかれましては、対象となる患者さんがいらっしゃいましたら、血液内科へご紹介いただければ幸いです。



CT・MRI 検査／消化管内視鏡検査のご案内

当院では地域の先生方からのご依頼により、CT・MRI ならびに消化管内視鏡検査を積極的にお受けしております。

通常の場合、患者さんに当院外来を受診していただき、担当医の指示により、同日あるいは後日に検査を実施しておりますが、地域の先生方から地域医療連携課経由で検査予約をお取りいただければ、二度の受診は不要となり、予約日にお越しいただくのみで検査をお受けいただくことが可能です。

CT・MRI 検査は単純撮像にとどまらず、**木曜日のみ**ではありますが**造影検査**も実施しております。2019 年度は MRI 検査が 553 件、CT 検査は 218 件を地域の先生方からご依頼いただきました。

また、消化管内視鏡検査では日本消化器内視鏡学会指導医・専門医による高度かつ負担の少ない検査を提供しております。2019 年度の地域の先生方からのご依頼実績は上部消化管が 140 件、下部消化管が 37 件でした。

いずれの検査も、**ご依頼は地域医療連携課にて承ります。**お申し込みに必要な書類や流れなどがございますので、お気軽にお問い合わせください。



『オープンベッド（開放型病床）のご案内』 《大北医師会所属の病診連携登録医の先生方へ》

当院では、2005 年より「開放型病院システム運営実施要綱」を定め、「オープンベッド（開放型病床）」の届出をし、運用を行っております。大北医師会所属の登録医に対して、病院の施設・設備を開放し、地域医療連携課を通して、あづみ病院の主治医と連絡を取りながら、共同して入院診察・検査・治療をすることができます。

現在、利用可能な入院ベッドを 5 床ご用意しております。ご希望がありましたら、お気軽に地域医療連携課までご用命、ご相談ください。

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております



北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL（直通）0261-61-1455 FAX（直通）0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日 8 時 30 分～17 時 00 分 土曜日 8 時 30 分～12 時 30 分（診療日に限ります）

連携室だより

2020 年 12 月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センターあづみ病院 〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行／地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

連携室だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

リハビリテーション Rehabilitation

CONTENTS

リハビリテーション科特集

新任医師紹介

居宅介護支援事業所から

血液内科を開設

CT・MRI 検査／消化管内視鏡検査のご案内



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

70
December 2020



本館 2 階のリハビリテーション室です。TKA 術後の膝の可動域の改善や歩行器を使っての歩行練習を行っています。新型コロナウイルス感染症感染防止目的に、中央の棚から前方を入院部門、後方は外来部門に分けて行っています。



精神科作業療法：リハビリとして園芸療法も行っています。

リハビリテーション科特集



スプリント：手指伸筋腱断裂のスプリント療法です。



通所リハビリ：集団での体操です。このほかにもいくつかのプログラムを実施しています。



言語聴覚療法：言語聴覚療法中です。地域に言語聴覚士が少ないため、訪問リハビリも行っています。



透析：循環改善と生命予後改善目的で、透析中にペダルを行っています。

本館 2 階フロアにありますリハビリテーション科以外に、以前本紙で紹介させていただきました肩関節治療センターリハビリテーション室、地域の先生方にご指示をいただきお世話になっております訪問リハビリテーション、さらには介護保険対応の通所リハビリテーションを展開しております。

より効率的に質の高いリハビリテーションを提供できますように、整形外科疾患、内科・外科疾患、循環器疾患に対する心臓リハビリ、下部尿路疾患に対する骨盤底リハビリ、透析患者さんを対象とした腎臓リハビリ、精神疾患に対する精神科作業療法等、専門チームに分かれて実施しています。今後とも地域に貢献できるリハビリテーション科をめざし努力して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。（リハビリテーション科技師長 大羽 明美）



新任医師紹介



藤原 舜也
(ふじわら しゅんや)

神経内科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 岡山大学（2015 年 3 月卒）
- ◆ 内科認定医
- ◆ 日本内科学会
- ◆ 日本神経学会

◆ 2020 年 10 月より神経内科に勤務する藤原舜也と申します。出身地、大学ともに岡山中、長野県で暮らすのは人生初となります。学生時代にツーリングで毎年訪れていた安曇野で働けることをたいへん幸せに感じております。神経内科医として地域の医療に貢献できるよう努力して参ります。

居宅介護支援事業所から

介護保険制度がはじまった 2000 年から当事業所を開設し、現在 4 名の介護支援専門員で運営しております。事業所の特徴としては男性 3 名、女性 1 名とこの地域にはめずらしい男性の介護支援専門員が多い事業所です。

現在、居宅介護支援事業所は医療と介護の連携強化、質の高いケアマネジメントの推進について制度改正のたびに強く言われています。

医療と介護の連携では、入院時に速やかに入院先に情報提供することや、退院時に入院中の情報を在宅チームに引き継ぐ切れ目のない支援が求められており、そういった橋渡しの役割を担う専門職として地域の開業医の先生方との連携の頻度も増えてきています。

また、質の高いケアマネジメントの推進では、他法人が運営する居宅介護支援事業所と共同の事例検討会・研修会等の実施や、地域包括支援センター等が実施する事例検討会への参加等が特定事業所の算定要件になっています。当事業所としても毎朝行っているケース共有やケース検討のなかから得られた学びを地域と積極的に共有することで質の向上に励んでいます。今後ともよろしくお願いいたします。

（居宅介護支援事業所長 介護支援専門員 丸山 健太）



朝のミーティングの様子

北アルプス医療センターあづみ病院 居宅介護支援事業所



他事業所との事例検討会の様子